

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃげきだんはいししょう		団体ウェブサイトURL
	株式会社劇団俳小		https://www.haishou.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 斎藤 真		
制作団体所在地	〒 187-0003	最寄り駅(バス停)	西武新宿線 花小金井駅
	東京都小平市花小金井南町1-13-33 ユーベル花小金井B1		
電話番号	042-452-9140		
ふりがな 公演団体名	げきだんはいししょう		団体ウェブサイトURL
	劇団俳小		https://www.haishou.co.jp
代表者職・氏名	代表 斎藤 真		
公演団体所在地	〒 187-0003	最寄り駅(バス停)	西武新宿線 花小金井駅
	東京都小平市花小金井南町1-13-33 ユーベル花小金井B1		
制作団体 設立年月	1974年1月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 斎藤 真 専務取締役 勝山 了介 常務取締役 大川原 直太 監査役 井出税理士事務所	(1) 団体構成員 個人33名(劇団員23名、研究生10名) (2) 主な構成員 俳優 斎藤真、勝山了介、大川原直太 (3) 加入条件 劇団俳小入団試験後、選定	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	大川原 直太
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	西本 さおり
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@haishou.co.jp(劇団)	naota_vigeinin_1017@yahoo.co.jp(担当者)	

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>昭和46年、早野寿郎・小沢昭一等が中心となって活動していた劇団俳優小劇場が解散し、演出家・早野寿郎が主催者となり、昭和49年、劇団俳小を創立。ヨーロッパ・アメリカ演劇から、日本の古典、新作、あるいは詩や小説をそのまま舞台に載せる等、一定の演劇理念にとらわれない幅広い演劇活動を続けながら、舞台芸術の原点を探る演劇創造集団として再出発した。</p> <p>昭和51年『あの人は帰ってこなかった』で文化庁・芸術祭優秀賞。平成6年には、ジェームス三木作・演出による『上杉鷹山』が、地方行政(米沢市)との協力による公演形式で全国的話題となる。他、『橋からの眺め』、『五稜郭』、『どさ回りのハムレット』、『悲喜劇～自殺者』、『金閣炎上』、『チーチコフー死せる魂よりー』などで、池袋演劇祭大賞をはじめとする各賞を受賞。『袴垂れはどこだ』で第25回読売演劇大賞・杉村春子賞(シライケイタ演出)を受賞。自主公演、小中高を中心とした学校公演(文化庁主催『文化芸術による子供育成推進事業』)、アメリカ、ヨーロッパ、ロシアなどでの海外公演など、幅広く精力的に活動している。</p> <p>また、最近では優れた舞台を造り続けている眞鍋卓嗣、小笠原響等の気鋭な演出家達を招聘して、カナダ演劇、オーストラリア演劇などの話題作を上演し、新聞評、演劇雑誌評等で高い評価を受けている。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>1.「わが町」(200ステージ以上) 各地の高等学校芸術鑑賞教室</p> <p>2.「カチカチ山」(500ステージ以上) 都立一ツ橋高校、私立豊島実業高校、私立桐朋女子高校等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室</p> <p>3. 文化庁舞台芸術ふれあい教室～本物の舞台芸術体験事業 「椎の木の暦」(200ステージ以上) 各地の小中学校他、県立若狭高校、県立米沢商業高校等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室</p> <p>4.「どさ回りのハムレット」(60ステージ) 石川県高等学校文化連盟他、各地の高等学校芸術鑑賞教室</p> <p>5.「ら抜き殺意」(60ステージ) 石川県高等学校文化連盟他、各地の高等学校芸術鑑賞教室</p> <p>6.文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業～舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) 「トキワ荘の夏」(200ステージ以上) 各地の小中学校他、石川県高等学校文化連盟、私立桐蔭学園等、各地の高等学校、中学校芸術鑑賞教室</p>		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>特別支援学校等における公演実績はありません。しかし、文化芸術による子供育成推進事業等で、特別支援学級の生徒さんにも一緒に観て頂いています。その時は先生方と良く話し合い、舞台設営においては通路の配線や道具の設置位置及び照明の明るさや音響の調整等にも細心の注意を払いました。また、聴覚障害のある生徒にはパソコン、視覚障害のある生徒にはイヤホンの用意をして頂き、身体不自由な生徒には車椅子と付き添いの方の席を設けて頂く等、先生方には特別な配慮をして頂きました。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/Je21UuiqkCA</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
<p>PW:</p>			

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団俳小】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	希望の灯をともし 未来へ！「トキワ荘の夏」			
企画のねらい	現在、世界では様々な矛盾が露呈し、ウクライナやパレスチナでの戦争、イランとイスラエルの軋轢等々、世界大戦前夜ではないかと思われる程の危機的な状況の中、また日本でも令和6年能登半島地震や夏の異常気象、台風被害などの災害が起こり、世界中の社会的、経済的疲弊は今までと同様計り知れず、閉塞感も広がり、人々は益々精神的に落ち込んでいます。こういう時こそ、今まで以上に子供達に「希望」と「明るさ」を与えてくれる「文化・芸術の力」が必要と思い、本作品を企画しました。			
演目概要・演目選択理由	別添シート①参照			
児童・生徒の参加又は体験の形態	別添シート②参照			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	6～12名	
		鑑賞人数目安	500名程度(全校生徒可)※それ以上応相談	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p style="text-align: center;">作・演出／竹内 一郎</p> <h1 style="text-align: center;">トキワ荘の夏</h1> <p style="text-align: right;">公演時間 100 分</p>			
出演者	木塚修身役：大川原直太 秋森良太郎役：佐京翔也 内山啓役：手塚耕一 寺本文雄役：駒形亘昭 秋森恵美役：荒井晃恵 水島洋子役：諸角真奈美 藤本博文役：大久保卓洋 愛甲郁夫役：宮崎佑介 赤坂不二朗役：根本浩平 大瀧浩一役：井上昇 島本賢役：遊佐明史 岡達彦役：井上寛 佐々木あけみ&永井たけし役：吉岡真琴			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>作・演出：竹内一郎……劇作家・演出家・漫画原作者。著書にベストセラー『人は見た目が9割』(新潮新書)、『手塚治虫＝ストーリーマンガの起源』(講談社)でサントリー学芸賞、筆名(さいふうめい)『哲也 雀聖と呼ばれた男』で講談社漫画賞を受賞。</p> <p>芸術監督・キャスト：大川原直太……俳優。木野花ドラマスタジオ、東野栄心一座等を経て劇団俳小所属。主な出演作品に「袴垂れはどこだ」(演出：シライケイタ)、「ダンシング・アット・ルーナサ」(演出：小笠原響)他。外部公演、映画等にも多数出演。「トキワ荘の夏」では木塚修身役を初演から演じ続け、同時に芸術監督としてワークショップ指導などにも尽力している。</p> <p>キャスト：佐京翔也……俳優。日本工学院専門学校を経て劇団俳小所属。『プラトーフ』(演出：ウラジーミル・ペイリス)、『少女仮面』(演出：加納幸和)等劇団公演に多数出演。「トキワ荘の夏」では主人公秋森良太郎を10年以上に渡り熱演している。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者： 13 名 スタッフ： 7 名 合計： 20 名	運搬	積載量： 2 tワイドロング 車長： 6.5 m 台数： 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	8時	8時～11時		13時30分～15時10分	10分	15時25分～17時	17時	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月		7月		8月		9月	
	10日		3日		20日		20日	
	10月		11月		12月		1月	
	22日		18日		15日		19日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		127日



体育館ステージに舞台を設置した状態。
設置に必要な広さ
幅9m×奥行3.3m(舞台張り出し可)

※ステージが狭い場合はフロアに設置す
る事も可能です。
フロア設置に必要な広さ
幅9m×奥行4.5m

「トキワ荘の夏」上演の様子

トキワ荘の漫画家たちの場面



生徒出演場面



主人公秋森良太郎と木塚修身の場面



フィナーレの音楽の様子



公演に係るビジュアル
イメージ
(舞台の規模や演出が
わかる写真)

※採択決定後、図
面等の提出を願
います。

著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当あり	該当コンテンツ名	著作権
	該当事項がある 場合 権利者名 竹内一郎		許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 劇団俳小 】

ワークショップのねらい	別添シート③参照		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	500名程度(全校生徒可)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>[ワークショップ形態]</p> <p>①まず、全校児童・生徒を対象として、芸術監督及び俳優数名が講師として、本作品の内容について〈解説〉をし、〈体操〉・〈発声〉・〈歌〉についてのワークショップを行い、本番での生徒全員の参加共演シーン(クライマックス)造りに取り組みます。</p> <p>②次に、本番に出演する生徒達(6名前後)に言葉の意味を理解した上でのセリフと動きの練習、つまり演技の練習と漫画のデッサンと「絵描き歌」の歌の練習をします。こうして生徒達は、コミュニケーションは言語だけでなく、「非言語コミュニケーション」もあるのだという事に気付いていく事になります。</p> <p>1. 解説…… 「トキワ荘の夏」のあらすじと、どんな漫画家がいたのか、どんな作品を描いていたのかを説明します。</p> <p>2. 体操…… 体を柔らかくし、自由に動くようになるためのゲームを入れた肉体訓練、リズム体操をします。</p> <p>3. 発声…… お腹に手を当てて腹式呼吸を体験してもらいます。相手の位置やそこまでの距離を意識し、自分自身のナイーブな声を相手の心に届くように発声します。</p> <p>4. 歌を歌う…… 舞台に参加する児童・生徒達には漫画を描きながら歌う「絵描き歌」を、全生徒達には、〈夢〉を〈希望〉をこれからも託していこうと決意するラストのクライマックスでの歌の練習をします。</p> <p>5. 絵を描く…… 喜怒哀楽を表現する漫画の基礎的なデッサンと漫画の吹き出し(セリフを囲む枠)の練習をします。</p> <p>6. 演技…… 本番に参加する児童・生徒達のワークショップは次の二ヶ所です。 ①近所の子供達が「トキワ荘」に訪れ、主人公である木塚修身に漫画の描き方を教えてもらうシーン。 ②藤本博文、愛甲郁夫が近所のラーメン屋「松葉」で子供達に絵の書き方を教えるシーン。</p> <p>7. 当日のリハーサル…… ワークショップ当日は以上のタイムテーブルで進行していきます。本番当日のリハーサルでは、本番と同じように体育館に組んだ舞台セット、照明、音響を使用し、ワークショップで練習した俳優達と一緒に、共演場面や最後のクライマックスの歌の場面を実際に造り上げます。(約45分位)</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>●特別支援学校での実施における工夫 先生方との話し合いをより詳細にし、生徒達の状況に応じた、そして、今まで特別支援学級の生徒達にも用いた、ワークショップ、本番での方法も例えば下記のように考えていきます。</p> <p>1. 聴覚障害のある児童・生徒には…字幕スーパーを用意したり、先生方にパソコンを用意してもらい、字幕を出してもらおうようにします。 2. 視覚障害のある児童・生徒には…舞台のセリフ、音楽が良く聞こえるように、イヤホン等を用意します。 3. 身体不自由な児童・生徒には…車椅子を用意し、車椅子及び付き添いの方のための観客席をもうけます。 この作品は「歌を歌う」「絵を描く」という非言語情報により、言語情報だけより伝達力が高まり、コミュニケーション能力がより発達するように演出されているため、児童、生徒達にも良く理解でき、楽しめる舞台になっています。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

劇団俳小

】

①本事業に対する取り組み姿勢

この事業は創造団体への助成ではなく、文化庁、学校、創造団体(劇団)等が協同して行う「国の教育支援」のための事業だということを、我が劇団は認識しています。ですから、体育館でやるという事は、生徒達が普段、体育や学校行事に使っている**体育館が別世界の空間に生まれ変わることを知り**、深い感動を受け、子供達の**創意工夫、協力**という事が発芽され、子供達の可能性を引き出す”機会”となり、子供達の成長を促す**〈経験の場〉**として深い意味があります。

これまでこの事業を施行してきた中で、「普段、なかなか生徒に体験させる事が出来なかった生の舞台を観る事が出来、そのためのワークショップで新しい体験が出来ました」という多くの先生方の感謝の声を耳にしてきましたが、「**参加型公演(舞台への参加、舞台の仕込みと撤去時の参加等)**」及び「**本番のためのワークショップ**」の実施によって、生徒や先生方は新しい出会いと新しい発見をしていきます。共に稽古をし、自分自身の潜在能力を発見し、「**物造り**」の**楽しさ**を知り、生き生きとした新鮮な生活を見出していくのです。

劇団俳小は児童・生徒達のために優れた演劇を提供するだけでなく、生徒達、先生方、保護者の皆様、地域の方々とのコミュニケーションの場を広げ、演劇による教育支援のため、また心豊かな**地域社会への効果的な寄与**が出来るように、「参加型の舞台」及び「ワークショップ」の充実を図っていきたいと思っています。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

同じ地域で事業を実施するにしても、各学校、各生徒の性格、状況はそれぞれ違います。特に舞台及びワークショップに参加する児童、生徒達には、画一的な訓練をするのではなく、それぞれの個性を大事にし、それぞれに合わせた訓練をしていきます。そのために「ワークショップ」と「本番」の前の各学校とのきめ細かい「**打合せ**」が必要となってきます。先生方との話し合いで、各学校、それぞれの児童、生徒達にあった、舞台の参加形態とワークショップの方法を考えていきます。またワークショップで必要な資料(台本、楽譜、CD等)を事前に送付し、本番に間に合うための練習方法(音楽の授業やホームルームでの練習やお昼休みに歌のCDを流して頂く等)を、「ワークショップ」で、丁寧に先生方と生徒さん達と相談していきます。そして、本番後の先生方、生徒達との「**座談会**」「**感想発表**」を行い、「本番」「ワークショップ」の成果を検証し、今後の展望を図っていきます。特にコロナや自然災害など油断できない事柄がまだまだ多いので、先生方、生徒達との話し合いでは今まで通りオンライン(リモート参加等)の活用も考えていきます。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団俳小
------	------	--------	------

●演目概要
第二次世界大戦直後に、手塚治虫という天才が出現し、その後も日本漫画界をけん引し、その発展に大きく寄与しています。手塚は、昭和30年前後、「トキワ荘」というアパートに住んでいました。そこに漫画家を夢見る若者が日本中から集まってきました。藤子・F・不二雄、藤子不二雄A、赤塚不二夫、石ノ森章太郎他……。漫画創世記の天才たちの、梁山泊のようなアパートになっていました。本作品は、「トキワ荘」を舞台に、漫画家、編集者、小説家など、新しい文化創造に挑む若者たちの群像劇です。夢、悩み、友情があり、挫折がある漫画家達の間人ドラマを通じて、何故、マンガという新しい文化が芽生え、発展していったか、良く理解出来、児童、生徒達に深い感動を与えます。
作・演出を担当したのは、竹内一郎。著書『人は見た目が9割』でベストセラーを出し、『手塚治虫＝ストーリーマンガの起源』で、サントリー学芸賞(文学・芸術)を受賞し、マンガ文化に造詣の深い演劇人です。又、本作品はトキワ荘が実在した豊島区の「区制施行80周年記念公演」に選ばれ、大好評を得た作品です。

コロナ禍ではコロナ対策として、生徒の出演を取り止めたり、「フィナーレの音楽」を生徒達が密にならないように声を出さずに手拍子で一緒に参加して貰っていました。しかし昨年度からは先生方と協議の上で、以前と同じ様に児童・生徒に出演してもらい、「フィナーレの音楽」を観客の生徒達にも歌って貰い、感動的なクライマックスを造り出して生徒達は勿論の事、保護者の方々にも大変評判の良い公演となっています。

●演目選択理由
今やマンガやアニメは世界に誇るべき文化の一つとなっており、世界中の若者達に勇気と感動を与えています。若き天才漫画家・手塚治虫は彼と同じ若き漫画家達との葛藤の中に「夢」や「希望」を見出していこうとしました。
子供にとって最も大事な「他人と協調して思いやる心」「感動する心」「豊かな人間性」等の『生きる力』を描いた若き漫画家達の青春群像劇「トキワ荘の夏」を児童、生徒達に観てもらうだけでなく、一緒に芝居に参加(舞台での共演、フィナーレの歌による生徒全員のクライマックス造り)してもらおう事は、子どもたちの夢やアイデアを広げる「想像力」とそれを実現する「創造力」を育み、多くの児童、生徒達の共感と感動を得られると思います。今年度も先生方、保護者の方々にもこの舞台を楽しく観て頂きたいと思い、この作品を選定しました。

別添シート①
演目概要・演目選択理由

舞台「トキワ荘の夏」 南砺・井波小児童が熱演 藤子Aさん、Fさんゆかり

8/31(土) 8:02 配信  



子ども役の児童も出演した「トキワ荘の夏」の一幕＝南砺市の井波総合文化センター

氷見市出身の漫画家藤子不二雄Aさん(元富山新聞記者)や高岡市出身の漫画家藤子・F・不二雄さんが駆け出し時代を過ごした東京・豊島のアパート「トキワ荘」を舞台にした演劇「トキワ荘の夏」が30日、南砺市の井波総合文化センターで上演された。井波小の児童6人が出演し、全校児童約300人が富山出身の漫画家の情熱を感じた。

トキワ荘は漫画家手塚治虫氏や石ノ森章太郎氏らも青春時代や下積み時代に過ごしたアパート。舞台は手塚氏が締め切りに追われながら執筆する場面や、藤子AさんとFさんが一緒に作品制作に励みながら、ライバル心を持っていた様子がユーモアを交えて描かれた。

漫画家にあこがれる子ども役を務めた高田凌太郎君(5年)は「とても緊張したけれど、せりふをちゃんと覚えて良かった」と笑顔を見せた。7月のワークショップで児童に演劇を指導した劇団俳小(東京)の責任者大川原直太さんは「大きく通る声で演じてもらい、感激した」と評価した。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団俳小
------	------	--------	------

生徒全員が参加出来る様な形態をとり、「みんなで物を造る事」の楽しさ、感動を経験して頂こうと思っています。先生方にも出演してもらおう場合もあり、生徒達も普段見たことのない先生の姿を見る事で新しい関係性が生まれます。児童、生徒の参加形態は次の2点です。

①6人程度の児童・生徒には「トキワ荘」の近所に住む子供達になって貰います。舞台上で「絵描き歌」を歌いながら、漫画家に扮した俳優達に、漫画の描き方を教えてもらいます。児童・生徒達は歌っているうちに、人間や動物の簡単なデッサンが出来るようになります。

こうしてセリフだけの交流の時よりも、より登場人物達になりきっていき、生き生きと楽しく演技が出来るようになります。



②児童・生徒全員に「フィナーレの歌」を歌ってもらいます。歌の中で、子供達に「野球選手になりたい、サッカー選手になりたい、アイドルになりたい、歌手になりたい」等、自分の夢を体の動きで表現してもらいます。普段口に出さない事を体で表現する事によって、子供達の目がキラキラしてきます。

出演するまでは恥ずかしがり、前に出るのを嫌がっていた子供達も、公演が終わると「また出演してみたい、研究発表会に役立てたい」等、明るく、積極的になっていきます。一人の子供が大胆な演技やアクションをすると、他の子供達も触発されて盛り上がり、より役になりきろうとするなど、子供達同士のコミュニケーションも活発になっていきます。更に子供達の予想以上の演技に俳優達も盛り上がり、様々な相乗効果を得る事が出来ます。

この様に演劇が文字や言葉だけではなく、音楽や絵画も入ったコミュニケーションが、より相手に伝わっていくという、この作品のもう一つのテーマである非言語コミュニケーションの魅力を実感していきます。

別添シート②
児童・生徒の参加又は体験の形態

トキワ荘の演劇体験 南砺・井波小でワークショップ 元富山新聞記者・藤子Aさんクイズ

7/20(土) 8:02 配信

北国新聞
THE HOKKOKU SHINBUN



ワークショップで歌や演技を体験する児童 = 南砺市井波小

氷見市出身の漫画家藤子不二雄Aさん（元富山新聞記者）や高岡市出身の漫画家藤子・F・不二雄さんが駆け出し時代を過ごした東京・豊島のアパート「トキワ荘」を舞台にした演劇「トキワ荘の夏」のワークショップが19日、南砺市井波小で開かれた。全校児童285人が演劇を体験したり、藤子Aさんらにまつわるクイズに答えたりし、合唱も練習した。8月30日の演劇鑑賞会で披露する。

「トキワ荘の夏」は劇団「俳小」（東京）の団員、スタッフ20人が8月30日、井波町総合文化センターで演劇を披露する。4～6年生6人がトキワ荘の近所の子供役で出演し、観客の児童と団員らで「まんが夢の翼」を合唱する。本番前に劇団俳小の責任者大川原直太さんら団員3人によるワークショップが開かれた。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.3	【公演団体名	劇団俳小 】
別添シート③ ワークショップの ねらい	<p>ワークショップでは、「演技をする」「歌を歌う」「絵を描く」というリハーサルをする事によって、感受性と表現力及びコミュニケーション能力が養われ、より楽しく舞台を観たり、お芝居をしたり、歌が歌えるようになっていきます。また「トキワ荘の夏」の世界を理解する事によって、漫画に興味を持ち、漫画を読んだり、「トキワ荘の夏」の資料を調べたりして、生徒達の本番への期待感がより高まっていきます。全ての人々が〈参加者〉であり、〈主体者〉である事を実感できる素晴らしい「本番」になっていきます。つまりワークショップは、本番に向けての大事なリハーサルなのです。ワークショップを受けた子供達は自己主張、自己表現が上手くなっていき、本番に向けて自主的に集まり自分達で稽古をするなど、子供達に自立心が生まれ、協調性も育まれます。</p> <p>●解説の狙い 本作品の内容及び登場人物(トキワ荘はどんなアパートだったか、どんな漫画家達だったか等)を理解する事によって、(低学年の子供達には特に丁寧に解説していきます！) 楽しく本番を観れるようになり、より優しく演技をしたり、元気に明るく歌えるようになっていきます。</p> <p>●演技することの狙い プロの俳優達と一緒に出演する事によって、「こんな事もやって良いんだ」という新しい自分を発見し、また、表現する事で自分達の考えたメッセージが観客に伝わるという事を実感出来るようになります。</p> <p>●歌を歌うことの狙い 歌を歌うことは頭の働きや健康に良い効果があるとされています。また、言葉にメロディがつく事で記憶が強化されます。歌を歌う場面の前のシーンを俳優達が本番通りに演じてみせ、それに触発されて子供達は本番では明るく元気に「絵描き歌」「フィナーレの歌」を歌うことが出来ます。そして全校自動、生徒と舞台上の俳優達との合唱で、感動的なフィナーレを造り上げることが出来ます。</p> <p>●絵を描くことの狙い 自分の手を動かして絵を描くことで、脳に刺激を与え脳が活性化され、伝達意識が高まり、参加意識も高まります。デッサンの基礎に目を向けることができます。自分の作品が、数点完成するので、達成感という喜びもあります。</p> <p>●非言語コミュニケーションの重要性に気付く 言語情報だけより、言語+非言語情報の方が、伝達力が高い事を、実際に簡単なマンガを描いてみる事で実感します。つまり、言葉だけでなく、歌を歌う事や、絵を描く等という非言語コミュニケーションを使い、総合芸術である演劇を体験してもらう事により、相手との距離感が縮み、相手の気持ちを深く理解出来る様になり、コミュニケーション能力がより発達し、社会性が身につく事になるのです。</p>	 	